

平成16年8月教育長定例記者会見資料

事項	内容				備考
<p>県立高等学校再編前期計画(7年度)について</p>	<p>1 県立高等学校再編整備の前期実施計画(平成15年度～平成18年度)について 「県立高等学校再編整備の基本計画」(平成14年6月)に基づき、平成15年度から平成18年度までを計画期間とする「県立高等学校再編整備の前期実施計画」(平成15年2月)を策定し、公表しましたが、そのうち、平成17年度実施対象校の概要がまとまりましたので、お知らせします。</p> <p>2 平成17年度実施対象校</p>				
	再編の内容	統合(総合学科の高等学校)	昼夜開講の定時制単位制高等学校	全日制課程の単位制高等学校	学科改編
	対象高校	江戸崎総合高等学校 (校名は案) (江戸崎高校及び江戸崎西高校の統合による新高校)(詳細は2ページ参照)	鹿島灘高等学校 (詳細は2ページ参照)	水戸第一高等学校	古河第一高等学校
	設置場所	稲敷郡江戸崎町江戸崎甲476-2 (江戸崎高校の校地利用)	鹿嶋市志崎121	水戸市三の丸3-10-1	古河市旭町二丁目4-5
	設置内容 <small>*数字は募集学級数</small>	江戸崎高校(普通科1, 農業科1, 園芸科1, 機械技術科1) 江戸崎西高校(普通科3) 総合学科(単位制)6	全日制課程3 定時制課程3 三部制(午前部, 午後部, 夜間部)の単位制とする。	単位制の導入	商業科5 <ul style="list-style-type: none"> 流通ビジネス科3 会計ビジネス科1 情報ビジネス科1
	設置学科	総合学科	普通科	普通科	普通科 商業に関する学科 <ul style="list-style-type: none"> 流通ビジネス科 会計ビジネス科 情報ビジネス科
	募集学級(募集定員)	6学級(240人)	午前部 1学級(40人) 午後部 1学級(40人) 夜間部 1学級(40人)	8学級(320人)	普通科 2学級(80人) 商業に関する学科 5学級(200人) 流通ビジネス科会計ビジネス科情報ビジネス科は、商業に関する学科として、くくり募集を行う。
	通学区域	全県	全県	全県	普通科(第5通学区), 商業に関する学科(全県)
	学期制	2学期制	2学期制	2学期制	2学期制
改編のねらい	総合学科に改編することにより、自己の進路への自覚を深めさせるとともに、多様化した生徒の個性、能力、進路希望などに応じて様々な普通科目や専門科目を開設することによって、生徒一人一人の進路希望の実現を図る。 将来の職業選択を視野に入れた進路ガイダンスのほか、個人面談の徹底、習熟度別授業などの充実を図る。	勤労青少年や、不登校経験者、中途退学者などの多様なニーズに応え、生徒一人一人の自己理解、自己実現を促す。自分のライフスタイルに合わせて学ぶ時間帯を選択ことや、多様な科目群から学びたい科目を選ぶことにより、生徒の主体的な学習を促す。 生徒と社会人が共に学び、多様な人間関係を作るとともに、心のふれ合いを大切にしたい指導により、生徒の豊かな人間性を培う。	単位制を導入することにより、これまでの選択制による選択科目に加え、多様な学校設定科目を設置し、それらの中から生徒一人一人が自分の興味・関心に基づいて選択できる教育課程を編成する。それにより、それぞれの分野で意欲のある生徒、能力の高い生徒をさらに伸ばし、学校全体の活性化を図る。	商品の生産・流通・消費にかかわる経済活動をビジネスとして捉え、どの学科も会計活用能力及び情報活用能力の育成を基本とし、それぞれの専門性を高め、上級資格取得や大学進学などに対応できる学力の向上を図り、多様な進路希望の実現を目指す。 商業経済に関する幅広い知識と技術の習得を目指すとともに、ビジネスにおけるマーケティング能力の育成を目指す。 簿記会計分野に関する幅広い知識と技術の習得を目指すとともに、ビジネスにおける会計活用能力の育成を目指す。 情報処理分野に関する幅広い知識と技術の習得を目指すとともに、ビジネスにおける情報活用能力の育成を目指す。	
改編の主な内容	多彩な科目を開設 必修科目・総合選択科目・自由選択科目など100科目以上を開設。17年度は14科目開設。2, 3年次の系列別に多彩な専門科目を開設する。 総合学科の5系列 人文科学系列: 文学・言語・地歴など人文科学に関する科目群 自然科学系列: 数学・理科など自然科学に関する科目群 グリーンテクノ系列: 植物の生理・生態や植物バイオテクノロジーなど並びに食品製造・食品化学などに関する科目群 メカニカルテクノ系列: 機械実習や機械工作など並びに自動車整備や自動車工学などに関する科目群 福祉系列: 介護や看護などに関する科目群	昼夜開講の三部制に改編 午前部, 午後部, 夜間部から在籍する部を選ぶ。在籍以外の部, 大検などの単位により3年間で卒業することも可。 多彩な科目を開設 芸術・生活関連科目を開講。習熟度別授業を展開。開設科目は、全日制最終入学生36科目から、午前・午後部で各6程度、夜間部で40程度に増設。 学校カンセリング体制の充実 カウンセラーなどの常駐。授業は少人数制できめ細かな指導。生徒の居場所としての多目的ルーム(談話室)を整備。必修科目「心理学」を開設。 地域に開かれた学校づくり 地域の社会人が生徒と共に学べるよう科目履修生(聴講生)を受け入れる。 地域でのボランティア活動, 就業体験などを単位認定する。	選択科目の拡充 開設科目は、学年制時の44科目から65科目に増設。2年次に緩やかな文系・理系選択制を導入し、3年次では40科目の大幅な選択科目設置により、生徒一人一人の興味・関心, 進路に応じた科目選択ができるようになる。 学校設定科目の開設 意欲のある生徒, 能力の高い生徒をさらに伸ばすことができるよう、「現代文表現」、「日本史史料研究」、「応用数学」、「理論物理研究」、「分子生物学入門」、「英語総合演習」などの学校設定科目を20科目開設する。	全学科とも卒業までに全商簿記検定1～2級を目指す。また、各学科で中心となる専門科目を必修として上級資格の取得を目指すとともに生徒の興味・関心に応じて選択履修ができる教育課程を編成する。 流通ビジネス科: 「商品と流通」「商業技術」などを中心に幅広い分野の科目を設定し、ビジネス全般に関する基礎知識を身に付けさせるとともに、「マーケティング」を必修とする教育課程を編成する。商業経済検定1級を目指す。 会計ビジネス科: 簿記会計分野の経理関連業務に適切に対応できる知識と技術を身に付けさせるため、「簿記」「会計」などに重点を置いた教育課程を編成する。全商簿記検定1級を目指す。 情報ビジネス科: ビジネスにおける情報を適切に活用できる知識と技術を身に付けさせるため、「情報処理」「プログラミング」「ビジネス情報」に重点を置いた教育課程を編成する。全商情報処理検定1級を目指す。	

高校教育課
高校教育改革推進室担当
(内線5248)

平成16年8月教育長定例記者会見資料

事項	内 容	内 容	備 考
<p>県立高等学校再編整備の前期実施計画（平成17年度実施対象校）について</p>	<p>3 江戸崎地区新高等学校の概要</p>	<p>4 鹿島灘高等学校の概要</p>	<p>高校教育課 高校教育改革推進室担当 (内線5248)</p>
	<p>基本的な枠組み</p> <p>(1)開校時期：平成17年4月。設置は県立学校設置条例改正時(第3回定例会予定)江戸崎高等学校と江戸崎西高等学校は平成17年度から生徒の募集を停止する。 (2)設置場所：現有の江戸崎高等学校の校地や校舎を利用する。 (3)課 程：全日制課程 (4)設置学科：総合学科(単位制) (5)募集学級及び募集定員：総合学科 6学級 240人 (6)総合学科の設置系列：5系列(人文科学,自然科学,グリーンテクノ,メカニカルテクノ,福祉)</p>	<p>教育方針</p> <p>創意ある教育課程により、豊かな心を育むとともに将来への夢や創造性を育む教育を推進する。また、生涯を通して自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる力を養う。</p>	
	<p>校名(案)</p> <p>茨城県立江戸崎総合高等学校</p>	<p>校 訓</p> <p>「自立」 「協学」 「創造」</p>	
	<p>校名の由来</p> <p>・「江戸崎」は地名であり、所在地を明示する。 ・「総合」は新校の教育内容である総合学科を示すとともに、個々別々のものを一つにまとめることを意味する。「江戸崎」と「江戸崎西」を統合することによって新たに誕生する新校のイメージに合致する。</p>	<p>教育目標</p> <p>(1)主体的に学ぶ姿勢を育てるとともに、確かな学力を培う。 (2)豊かな人間性を培い、生涯にわたり学習する意欲と態度を育てる。 (3)社会の変化に対応できる柔軟な思考力と、豊かな創造力を育む。</p>	
	<p>選定経過</p> <p>江戸崎地区新高校校名候補選定委員会(1)で、江戸崎地区新校設置推進協議会(2)と江戸崎地区新校準備委員会(3)で検討した校名候補案について、複数案に絞り、県教育長に提出した。この複数案について知事と教育委員会とで協議し、条例提案案を「江戸崎総合」とすることを決めた。</p> <p>1 委員長に寛江戸崎町長をあて、委員8名を構成員とする県教育庁で設置した組織。 2 会長に寛江戸崎町長をあて、委員27名、顧問2名を構成員とする稲敷郡町村会で設置した組織。 3 委員長に磯田江戸崎高校長、副委員長に山田江戸崎西高校長をあて、委員15名を構成員とする県教育庁で設置した組織。</p>	<p>教育課程編成</p> <p>(1)自分で自分の時間割を作成 ・生徒の興味・関心、進路希望などに応じて多彩な科目群から自由に科目選択ができる。 ・自分の在籍する部以外の科目を履修できるため、3年で卒業することも可。 ・選択科目として「読み書き検定」「史料で読む日本史」「鹿行の歴史・文化」「時事問題研究」「基礎経済」「みんなの数学」「科学研究」「歌唱」「実用の書」「ふれあい陶芸」「旅行英会話」「みんなの英語」「外国事情」「中国語」「電卓演習」などの学校設定科目を開設する予定。 ・国語、数学、英語の教科で習熟度別授業を展開する。 (2)学校外の成果を単位認定 大検の合格科目、技能審査(英検、漢検など)、学校外における学修(ボランティア活動、就業体験など)学校外で学んだ成果も卒業単位として認定する。 (3)科目履修生の受け入れ 「ふれあい陶芸」「鹿行の歴史・文化」「中国語」などの科目を一般社会人にも開放するため、定員に余裕がある場合、科目履修生(聴講生)を募集する。</p>	
	<p>教育方針</p> <p>(1)確かな学力の伸長を図るため多様な学習形態を設けるとともに、計画的、組織的な進路指導により一人一人の進路希望の実現を目指す。 (2)21世紀を逞しく生き抜く生徒の育成を目指し、「知育」、「徳育」、「体育」についてバランスのとれた指導を行い、人間として調和のとれた生徒の育成を目指す。 (3)学校のもつ教育力を地域に還元し、地域社会に開かれた学校を目指す。 (4)地域社会との積極的な交流により、地域社会の要望を的確に捉え、地域に信頼される学校を目指す。</p>	<p>学校カウンセリング体制</p> <p>人間関係のスキルアップ、生き方・在り方の探究、勉強方法の改善などを図りたいという生徒のニーズや、問題行動を起こすおそれのある生徒、不登校生徒、勉強が不得意な生徒などに対応し居心地のいい学校にするため、学校カウンセリングを次のとおり行う。</p> <p>(1)カウンセラーなどによる手厚い支援 スクールカウンセラーの配置 臨床心理士など「心の専門家」が、生徒のカウンセリングや教職員・保護者のコンサルテーション(会議・相談)を行う。 カウンセリングコーディネーターの配置 相談担当の教諭が、カウンセラーとして活動するとともに、カウンセリング関係者の調整を行う。 キャンパスエイドの配置 茨城大学の大学院生・大学生が毎日常駐し、生徒の話し相手として支援活動を行う。</p> <p>(2)生徒の居場所作り 授業のない時間に生徒の居場所として多目的ルーム(談話室)を整備し、また、悩みをもつ生徒の居場所としてカウンセリング室にフリースペースを整備する。</p> <p>(3)心理・進路に関する学習の充実 すべての生徒を対象に、人間関係作りや在り方生き方の探究を促すため、必修科目の「心理学」(構成的グループ・エンカウンターなどを行う。)や総合的な学習の時間の「キャリアガイダンス」を開設する。</p> <p>(4)少人数のきめ細かな学習指導 選択科目を数多く開設することや、習熟度別授業の導入により、少人数によるきめ細かな学習指導を行う。</p> <p>(5)地域の教育力を活用 社会人講師や科目履修生など地域の社会人とふれ合い、学び合うことにより、生徒の豊かな人間関係を作る。また、地域でのボランティア活動、就業体験を単位認定する。</p>	
	<p>校 訓</p> <p>「至誠」 「創造」 「飛躍」</p>	<p>そ の 他</p> <p>(1)学校の愛称...「フレックススクール」 新しい学校であることをイメージできるよう学校の愛称を定めた。名前の由来は、学ぶ時間帯や科目を生徒自身がフレキシブルに選べることによる。 (2)入学者選抜 推薦入学、一般入学を実施する。なお、一般入学の学力検査は3科目で実施する。午前部・午後部間で第2志望が可である。成人特例選抜を実施する。 (3)夜間給食の実施 夜間部の生徒に、デリバリー方式の完全給食(学校栄養職員の栄養管理などのもとで民間委託)を実施する。 (4)バリアフリー化への配慮 高齢な聴講生などに学校生活環境を整えるためスロープや車椅子用トイレを整備する。 (5)全日制の在校生の取り扱い 平成16年度までに入学した生徒は、入学時に示された教育課程を履修して卒業する。</p>	
	<p>教育目標</p> <p>(1)基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着を図るとともに、自ら学び、自ら考える力を養う。 (2)一人一人の個性を伸ばし、未来を切り拓く逞しい心を育てる。 (3)自然体験や社会体験を通して、思いやりの心や望ましい職業観・勤労観を養う。 (4)郷土を愛する心や自律心を育む教育を推進するとともに、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成する。</p>		
	<p>教育課程編成</p> <p>(1)生徒の進路希望に応じた教育課程を編成し、個に応じた学習を展開する。 1年次に「産業社会と人間」の科目を開設するとともに徹底した進路ガイダンスを行う。 (2)総合学科の5系列 人文科学系列(文学・言語・地歴など人文科学に関する科目群)文科系大学への進学や就職に対応。 自然科学系列(数学・理科など自然科学に関する科目群)理科系大学への進学や就職に対応。 グリーンテクノ系列(植物の生理・生態や植物バイオテクノロジーなど並びに食品製造・食品化学などに関する科目群)農学系大学への進学や就職に対応。 メカニカルテクノ系列(機械実習や機械工作など並びに自動車整備や自動車工学などに関する科目群)工業系大学への進学や就職に対応。 福祉系列(介護や看護などに関する科目群)福祉系大学や福祉関連施設への就職に対応。</p> <p>(3)2年次、3年次に多彩な選択科目を開設する。 (4)取得可能な主な資格 ・英語検定準2級から2級を目指す。ワープロ検定は、1級から3級を目指す。 ・グリーンテクノ系列では、危険物取扱者(丙種・乙種)、大型特殊免許(農耕用)などの資格取得を目指す。 ・メカニカルテクノ系列では、3級自動車整備士、危険物取扱者(丙種・乙種)やアーク溶接・ガス溶接などの資格取得を目指す。 ・福祉系列では、介護福祉士国家試験受験資格と訪問介護員(ホームヘルパー)2級の修了証が得られる。</p>		
	<p>そ の 他</p> <p>(1)新校準備委員会 江戸崎高等学校長、江戸崎西高等学校長、県教育庁高校教育課高校教育改革推進室長などを構成員とし、県教育庁で設置した。教育目標、教育課程の編成、入学者選抜などの検討を行っている。 (2)江戸崎高等学校・江戸崎西高等学校の在校生の取り扱い ア 平成16年度までに入学した生徒は、それぞれの学校で入学時に示された教育課程を履修して卒業する。 イ 在校生の学習希望や進路希望などに配慮し、適切に対応していく。</p>		